

美山小学校「科学・ものづくりクラブ」で先生役

(社会連携推進センター)

本学では、年2回、美山小学校の「科学・ものづくりクラブ」の実験指導を行っています。オホーツク地域エネルギー環境教育(OE³)研究会の活動をきっかけに始まった取り組みで、マネジメント工学コースの学生が中心となって行っているものです。4年目を迎える今年は、9月10日(木)と11月26日(木)に、学生達が先生役を務める実験教室として開催しました。

身近な材料を用いて実験を行い、摩擦力や大気圧などの目に見えないものを感じる

ことに成功しました。また、牛乳パックの中に入れた電極に電気を流し、材料を加熱してパンを焼く実験も行い、担当の先生から「生徒が興味を持つ実験ばかりで助かっています」と好評価をいただきました。

この活動は、大学生ならではの地域貢献となるだけでなく、資料を集めたり小学生が興味をひくように工夫したりと、学生にとっても良い勉強の機会になっています。これからも継続して行っていきたいと考えています。



実験教室の様子